

かながわの交通

2022
5月号

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣府特命担当大臣賞)
~一般部門B~ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

自転車の すり抜け 飛び出し 事故のもと



春の全国交通安全運動 出発式 (横浜市西区耐震バース)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(令和4年4月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別区分	発生件数	死者数	傷者数
令和4年	6,625	32	7,564
令和3年	7,123	38	8,200
増減数	-498	-6	-636
増減率	-7.0%	-15.8%	-7.8%

	総 数	男	女
県 人 口	9,221,129	4,572,872	4,648,257
免 許 人 口	5,651,157	3,211,731	2,439,426
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人



ホームページ

(県人口は令和4年4月1日、免許人口は令和4年3月末現在)

抱っこより 深い愛情 チャイルドシート

着任挨拶

神奈川県警察本部 交通部長 川名 愛司



交通部長の川名でございます。

春の定期人事異動により着任いたしました。

交通安全協会の皆様におかれましては、平素より地域における交通安全活動をはじめ、警察行政各般にわたり御支援、御理解を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、本年3月末時点の県内の交通事故発生状況についてですが、交通事故で亡くなられた方は28人で、昨年の同じ時期に比べて1人減少しており、記録が残る昭和29年以降の月別統計としては、過去最少となりました。

また、発生件数、負傷者数とも昨年に比べ減少傾向で推移していることから、第1四半期を過ぎて比較的の穏やかな交通情勢といった印象を受けるやもしれません。

しかしながら、統計は、あくまで適切な交通安全対策を施すために数値化されたものであり、28人の尊い命が失われたことに変わりはなく、警察としては気を緩めるわけにはいきません。統計には反映されない物件交通事故の中には、たまたま死亡事故に発展しなかつただけというものがあるはずですし、現在のこの状態がいつまでも続くことはないことは統計が証明しております、例年、夏休みや年末に交通事故が増加する傾向にありますので、今後も緊張感をもって交通事故防止対策を展開する必要があります。

対策を施すに当たり、昨年中に交通事故でお亡くなりになられた方142人の特徴をみると、高齢者が65人で、全体の約半数を占めたほか、下校中の児童が被害に遭う痛ましい交通事故も発生しておりました。

また、歩行中と二輪車乗車中の事故が全体の約7割を占めたほか、自転車乗車中の事故も前年と比べ増加しました。

県警察では、この状況を踏まえ、二輪車、横断歩行者及び自転車の交通事故防止を対策の3本柱とし、併せて高齢者と子供の安全確保を重点対象として県民の皆様の安全を守る活動を強力に推進してまいります。

会員の皆様におかれましても、悲惨な交通事故を1件でもなくすため、引き続き地域における交通安全意識の普及、高揚にお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、交通安全協会の益々の御発展と会員皆様の御健勝を心から祈念申し上げまして、着任の挨拶とさせていただきます。

自転車マナーアップ強化月間実施中

◎スローガン ◇自転車も のれば車の なかまいり

◎期間 令和4年5月1日(月)~5月31日(火)の1か月間

◎交通安全協会の主な推進事項

各種広報啓発活動を展開し、自転車利用者の交通ルールの遵守、マナーアップを呼びかけています。

自転車安全利用五則 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外 2 車道は左側を通行

3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行 4 安全ルールを守る 5 子どもはヘルメットを着用

自転車に乗る前に ・自転車の点検整備をしましょう! ・自転車保険等への加入も忘れずに

お父さん、お母さん、子供さんが自転車で出かける際は交通安全の「ひとこえ」をお願いします。

～令和4年度「自転車交通事故多発地域」～

神奈川県交通安全対策協議会(会長:黒岩県知事)は、令和3年中の自転車交通事故件数の割合(構成率)が県内平均(25.1%)より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計17地域を5月1日付けて「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策の一層の推進を図ることとしました。

地域数	市区町村名
17地域	1 自転車関係事故県内平均(25.1%)+3ポイント以上 (以下構成率が高い順) 川崎区、茅ヶ崎市、平塚市、多摩区、幸区、中央区、南区(相)、寒川町、中原区、鶴見区、座間市、高津区、藤沢市、南区(横)、瀬谷区、大和市 2 自転車関係事故死者2人以上 藤沢市(重複)、厚木市、中央区(重複)

春の全国交通安全運動実施結果

春の全国交通安全運動が4月6日(水)から4月15日(金)までの10日間行われました。各地区交通安全協会では安全運動期間中、地元警察署等と連携し交通安全キャンペーン等において交通事故防止を呼びかけました。

また、4月6日には、神奈川県警察による「春の全国交通安全運動出発式」が横浜市西区みなとみらい「耐震バース」で行われました。

期間中の交通事故の発生状況については、交通事故発生件数、死者数、負傷者数は前年の同じ時期と比べ、いずれも減少しましたが、交通死亡事故は2件発生しました。

○ 期間中の交通死亡事故

(1) 4月12日(火) 横浜市都筑区

乗用自動車が歩行者と衝突

(2) 4月14日(木) 相模原市緑区

乗用自動車が路上横臥中の人に轢過

○ 「交通事故死ゼロを目指す日(4/10)」の交通死亡事故

・神奈川県 0件0人 ・全国(速報値) 6件7人

○ 全国の交通事故発生概況(速報値)

・発生件数 8,111件(前年同期比 -508件)

・死者数 57人(前年同期比 +1人)

・負傷者数 9,567人(前年同期比 -563人)

◇ 期間中県内の交通事故発生概況

区分	本年(前年同期比)
発生件数(件)	621(-37)
死者数(人)	2(-1)
負傷者数(人)	708(-60)



《横須賀交通安全協会》



《山手交通安全協会》



《都筑交通安全協会》



《川崎臨港交通安全協会》

危ないよ スマホじゃなくて 周り見て

二輪車交通事故防止 及び 暴走族追放運動

○ 期 間

令和4年6月1日(水)～6月30日(木)の1か月間

○ 趣 旨

この運動は神奈川県交通安全対策協議会の主唱により、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識の高揚を図るとともに、暴走族(四輪を含む)追放気運を醸成して暴走族への加入防止と離脱の促進を図るため、県民総ぐるみの運動を展開します。



- スローガン ◇ 運転に ゆとり やさしさ 思いやり
◇ 暴走は しない させない ゆるさない！

○ 重 点

- 二輪車の交通事故防止
- 暴走族の追放

○ 交通安全協会の主な推進事項

- 暴走族・二輪車の無謀運転追放キャンペーンなどを実施し、広報啓発活動を推進します。
- 二輪車安全運転講習会、暴走族への加入防止などの安全教育の場への積極的参加を呼びかけ、支援活動を行います。

☆ 二輪車はヘルメットを正しく着用(あごひもを確実に)し、二輪車用プロテクター、エアバッグジャケット等を着用し、防衛運転を心がけましょう ☆

第52回 二輪車安全運転神奈川県大会出場選手募集中

○ 開催日時 令和4年5月28日(土)午前9時から(受付8:00 雨天実施)

○ 場 所 横浜市旭区中尾1-1-1 神奈川県警察運転免許センター

○ 出場資格 本大会に出場する二輪車の運転免許を取得している方。 ただし、指導員や警察官など特定の方は応募できません。

○ 競技クラス

・Aクラス(51CC以上400CC以下)	・Bクラス(401CC以上)
・シニアクラス(60歳以上)(125CC以上400CC以下)	・少年クラス(原付50CC以下)

1人1クラスに限ります。改造等により騒音等が著しい二輪車の出場はできません。

○ 出場申込み方法等

警察、交通安全協会、二輪車販売店に備付けの「申込書」により、下記宛て郵送、FAX又はメールでお願いします。

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-15 (公財)神奈川県交通安全協会
TEL 045-478-0166 FAX 045-475-5524 メール uketsuke@k-manner.or.jp

○ 締め切り 令和4年5月20日(金)必着です。

令和4年使用 「交通安全年間ポスターデザイン」入賞作品(神奈川県)

全日本交通安全協会が毎日新聞社との共催により実施した令和4年使用「交通安全ポスター デザイン」については全国から3,134点の応募があり、神奈川県では

《一般部門B》



[全日本交通安全協会
会長賞]

塙山 未悠さん



[佳 作]

伊藤 文人さん

の2人が、入賞しました。※次号では、「内閣総理大臣賞」3作品を紹介いたします。

お知らせ

第51回交通安全こども自転車及び
第9回交通安全高齢者自転車 神奈川県大会の中止について



6月11日(土)開催予定の「第51回交通安全こども自転車神奈川県大会」第9回交通安全高齢者自転車神奈川県大会は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、県警察とも協議のうえ、同大会を中止することといたしました。

※ 本件につきましては、当協会ホームページでもお知らせしています。

第24回セーフティ・チャレンジ・かながわ 無事故・無違反コンクール

● 申込期間

令和4年4月16日(土)～6月30日(木)

● コンクール期間(無事故・無違反チャレンジ期間)

令和4年7月1日(金)～12月31日(土)

● 参加資格

◇ 神奈川県内に在住・在勤・在学又は仕事等のため、県内で自動車等を運転する方
3人一組で構成するチーム

◇ チーム員の全員(3人とも)が各都道府県
公安委員会の自動車運転免許(国際免許を除く)を受けていること

● 参加区分

◇ 一般チーム：年齢を問わず参加資格を有する3人で構成するチーム
◇ シルバーチーム：一般チームのうち、令和4年7月1日現在、全員が65歳以上のチーム

● 抽選 無事故・無違反を達成したチームの中から、抽選により賞品をお贈りします。
令和5年3月1日(水)当選発表(予定)

● 参加手数料

- ・ 1チーム 2,010円(運転記録証明書発行手数料3人分(1人670円)の実費)
- ・ 参加者の運転記録証明書は、参加申込み書に記載された送付先に発送します。
(1年間以上無事故・無違反の方には、SDカードも同封します。)

賞品(予定)

特賞 30万円分の商品券 [1チーム]

1等 15万円分の商品券 [3チーム]

2等 6万円分の商品券 [5チーム]

3等 3万円分の商品券 [15チーム]

4等 6,000円分の商品券 [100チーム]

5等 3,000円分の商品券 [200チーム]

その他シルバー特別賞あり

交通事故の悲劇に学ぶ ⑩②

●「返らない命」 M・F 塗装工(20代)

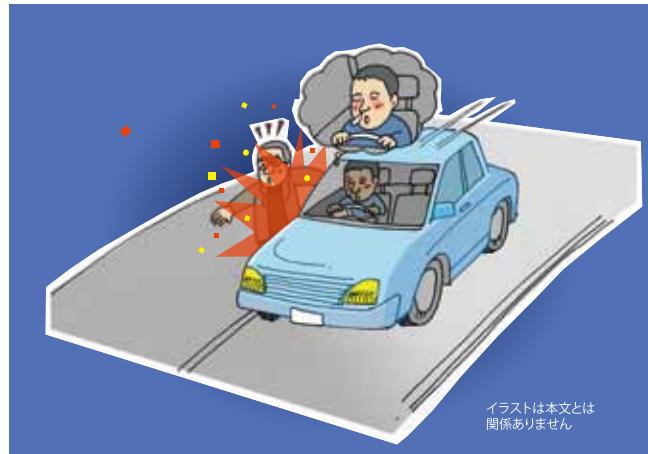
私は、これまで交通違反をして違反切符を切られても反省するのはその時だけで、次の日には何もなかったかのように車を運転していました。そのような交通ルールに対する甘い考えを持っていたからこそ、悪質極まりない事故を起こしてしまいました。

その日は、会社全体での食事会でした。給料日は会社全体で食事をすると決まっているので、仕事を終えた私は、午後7時頃、食事会をするお好み焼き屋に入りました。食事もお酒も進み2軒目に居酒屋に行き、3軒目にも行きました。何杯飲んだか覚えていませんが、だいぶお酒を飲んでいたと思います。

朝方4時頃になり、そろそろ解散することになりました。実はその日、私はお好み焼き屋まで車で来ていました。そして、少しの距離だから大丈夫と決めつけ、会社の仲間2人を乗せて車を発進させました。2人をそれぞれの自宅に送った後、私も自宅に帰ろうと車を発進させました。しかし、仕事を終え、酒も飲み、前日からほぼ24時間起きていた私に眼気が襲ってきました。早く帰ろうと片側2車線の見通しのよい幹線道路を時速90キロメートル近いスピードで、しかも、シートベルトを着用せず走行していました。運転の途中、飲食代でいくら使ったか気になり、ルームランプを付け、財布の中身を確認しながら走行していました。そして、交差点に差し掛かり、ふと前を見ると、青いジャンパーを着た人が急に目の前に現れました。ビックリして、慌ててハンドルを左に切りましたが間に合わず、車の右側に衝突して「ドン」という鈍い音がしました。

何とか車の体勢を整え、運転席側のミラーを見たところ、ミラーがありませんでした。直ぐに「人を撥ねた」と分かりましたが、「飲酒運転がばれる」と思い、その場から逃走してしまいました。

その後、被害者のことが気になり、一旦は事故現場に戻りましたが、救急車が到着しているのを確認すると、自首することなく自宅に戻りました。自宅に戻ってからも心臓が飛び出しそうなくらい焦っていましたが、仕事の疲れと、アルコールの影響もあったことから



眠ってしまいました。事故を起こしたのが朝の4時半頃、眠りについたのが1時間後の5時半頃、そして、その日の午後4時頃に刑事さんが自宅に来られ、任意同行の後に逮捕されました。

逮捕後、刑事さんから「被害者の方が亡くなられた」と告げられた時には頭が真っ白になりました。

弁護士を通して謝罪の手紙を出させていただいたのですが、読んではもらえませんでした。公判が始まり、その時に初めて被害者の御遺族とお会いしました。被害者の娘さんの「父を帰してください」という言葉を今でも忘れることができません。そして、過失運転致死、道路交通法違反の罪で懲役4年の判決を言い渡され、市原刑務所に服役することになりました。事故を起こして、御遺族の心に癒えることのない大きな傷をつてしまいました。また、家族、友人、会社など私の周りの人たちにも罪を犯したことで、ご迷惑と心配をかけてしまいました。

出所後は、御遺族に直接謝罪させていただけるよう弁護士を通じて手紙を出したいと思っています。しかし、私が謝罪をしたくても、御遺族は私に来て欲しくないと思っているかも知れません。これからは、御遺族の気持ちを最優先に考えたうえで償いを行っていきたいと思っています。そして、服役中はもとより刑期が満了してからも、自分に償いとして何ができるのかを模索しながら生きていきます。

～(一財) 東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第56集)」から～

この人 193



関口 達雄さん
 せきぐち たつお
 会長
 (財)麻生交通安全協会



こんにちは 「大和綾瀬交通安全協会」です

みなさんこんにちは！今日は少し悲しいお知らせです。

2017年10月号で紹介させていただいた、大和綾瀬交通安全協会のマスコット、三毛猫の「ミケ」が2018年11月26日、永い眠りにつきました。

野良猫で育ち、警察署のゴミを荒らしてしまっていたミケが、看板猫となり、私たちの仕事を手伝ってくれるようになってから15年以上、毎日一緒に交通安全活動に取り組んでくれてきました。

警察署敷地内のパトロール、協会の出入口でお客様のお出迎え係だったミケは、テレビやラジオそして地元紙でも取りあげていただき、街を見守るアイドル猫として人気者でした。亡くなつて3年経つた今でも毎日、

本年、創立35年を迎えた一般財団法人麻生交通安全協会第四代会長の関口達雄さんをご紹介いたします。

関口会長は昭和17年に地元の農家の長男として生まれになり、昭和46年に結婚されるまで農業一筋でしたが、結婚を機に敷地の一部にアパートを建設すると同時に文房具店を開業しました。

しかし、その文房具店も建物が老朽化したということで二年前に閉店し、現在は不動産業を営んでおられます。

当時、多摩消防団長沢班長・多摩交通安全協会支部役員として、ボランティア活動に従事していましたが、昭和62年4月に麻生警察署開設と同時に発足した麻生交通安全協会の麻生東支部役員となり、交通指導員・地域交通安全活動推進委員・交通安全協会副会長等を歴任した後、平成19年5月に会長に就任されて現在に至っています。

会長の性格は温厚で真面目に絵を描いたような方ですので、何事に対しても真剣に全力で取り組まれ、協会の事業運営はもとより各季の交通安全運動、地域における各種行事にも積極的に参加協力され、会長としてのリーダーシップを如何なく発揮されています。

会長は、今年80歳を迎えましたが、交通安全運動期間中や交通安全日等にはほとんど毎日、ご自宅近くにある長沢小学校の通学路において街頭監視活動を実施されておられます。

通学途中の子供達と交わす「おはよう」の挨拶が何よりの生き甲斐になっておられるとのことで、このひと言でいかにボランティア精神豊富で地域を愛していらっしゃる方が想像できます。

今後とも、ご健康に留意され、地域の交通安全のため益々のご活躍を願っております。

(取材協力:一般財団法人麻生交通安全協会)

お客様からミケとの思い出話を聞かせてもらっています。「会えることを楽しみにきました」「すごくかわいいかったですよね」と涙を流される方も・・・今まで可愛がっていただいた方へのメッセージとミケの写真をカウンターに飾つてあるので、遠くから見に来てくれる方もいます。

大和綾瀬交通安全協会にとってミケは、とても大きな存在であったことを感じ、引き続き、マスコットキャラクターとして頑張ってもらおうと思っています。

より多くの方に交通安全に関心を持っていただき、少しでも交通事故防止につながるよう、ミケのオリジナルグッズを作成、配付をしたり、ご入会された方にはミケの反射材キーホルダー等をプレゼントさせていただいています。



これまでミケを可愛がってくださっていたみなさま、本当にありがとうございました。

これからもミケと一緒に頑張っていきたいと思っています！

～毎日ブラッシングをしてくれた事務長さん、ご飯をくれたお姉さんたち、そして優しくしてくれたみなさんのこと、これからもずっと見守っているニャー ブー ミケより～

(小島 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

地区交通安全協会の活動紹介



大 船 鎌倉市今泉小学校の見守り活動



緑 鴨居駅周辺でのキャンペーン活動



逗子市 JR逗子駅における交通安全キャンペーン



金 汝 京急金沢文庫駅前キャンペーン

交通 街 頭 活 動



三浦市 交通事故死ゼロを目指す日



厚木警察署管内 水引交差点における交通安全キャンペーン



足 柄 国道 246 号線における交通安全キャンペーン



都 筑 交通事故死ゼロキャンペーン

贊助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、贊助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 三菱重工業(株) 勤労安全課 相模原市中央区
- 日産自動車(株) 相模原部品センター 相模原市南区
- 大洋石油(株) 横浜市西区北幸

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「贊助会員」としての入会をお願いいたします。

インフォメーション

- 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間 6月中
- 二輪車安全運転講習会 6月18日(土) 運転免許センター
- 第13回 評議員会・第38回 理事会 6月22日(水) 県協会会館
- 地区事務長会議 6月28日(火) 県協会会館